

# 政治経済英語 I

科目ナンバリング ENG-109  
選択必修 2単位

ミシュラン フランク

## 1. 授業の概要(ねらい)

英語は、世界中で、報道にとって主な言語であり、最新情報入手するため大切です。英語圏の国に限らず、日本を含め多数の国で英字新聞が存在し、英語で各国の事情、経済や政治に関する考え方等を知ることができます。

この講義では、多くの地域の新聞を読み、様々な問題を取り上げます。英語圏の著名な新聞以外にも、アジア、ヨーロッパ等の英字新聞を読み、世界の政治経済の状態を考察していきます。毎週、一緒に文章を読みながら、日本語で解説していきますので、同時に英語での読解力を身に付けましょう。春期の講義は、主として北米、欧州、アフリカ、中近東を取り上げますが、必要に応じて講義の流れを変更します。

## 2. 授業の到達目標

- ① 欧州連合(EU)の特徴を理解し、分析能力を習得する。
- ② 政治経済の問題を幅広く分析し、他者に説明できる。
- ③ 世界情勢に関して視野を広げ、考える能力を獲得する。

## 3. 成績評価の方法および基準

小テスト・レポート60%、期末試験 40%  
合格するには下記の条件があるので、ご注意ください。

- ① 中間テスト、レポート、期末試験を受ける事
- ② 欠席を5回未満

## 4. 教科書・参考文献

教科書  
教科書を使用しない。

授業ごとに資料を配布します。

## 5. 準備学修の内容

毎週予め授業の前に指定の記事を読んで、わからない用語を調べておく。

講義を行う前に予め使う教材をLMSにアップロードするので、その教材を毎週丁寧に読み、わからないところを文献やインターネットで調べる。

毎回授業が終わった日と翌週の授業の日の間に、前回の授業の教材を読み直す。

## 6. その他履修上の注意事項

毎週出席してください。また、秋期に「政治経済英語 II」を履修していただきたいと思う。

## 7. 授業内容

- |        |  |
|--------|--|
| 【第1回】  | 講義の紹介、短い記事を読む<br>対面で行う予定                   |
| 【第2回】  | 米国トランプ政権の外交政策と経済政策(1)<br>対面で行う予定           |
| 【第3回】  | 米国トランプ政権の外交政策と経済政策(2)<br>対面で行う予定           |
| 【第4回】  | 米国トランプ政権の外交政策と経済政策(3)<br>対面で行う予定           |
| 【第5回】  | 欧州連合の様子(1)<br>対面で行う予定                      |
| 【第6回】  | 欧州連合の様子(2)<br>対面で行う予定                      |
| 【第7回】  | 欧州連合の様子(3)<br>対面で行う予定                      |
| 【第8回】  | まとめ、中間テスト<br>対面で行う予定                       |
| 【第9回】  | ロシアの様子(1)<br>対面で行う予定                       |
| 【第10回】 | ロシアの様子(2)<br>対面で行う予定                       |
| 【第11回】 | ロシアの様子(3)<br>対面で行う予定                       |
| 【第12回】 | 中近東の政治状態(1)<br>対面で行う予定                     |
| 【第13回】 | 中近東の政治状態(2)<br>対面で行う予定                     |
| 【第14回】 | 中近東の政治状態(3)<br>遠隔(LMSに音声ファイルを含め教材を掲載)で行う予定 |
| 【第15回】 | まとめ、期末試験<br>対面で行う予定                        |